

# 遺伝子とは？

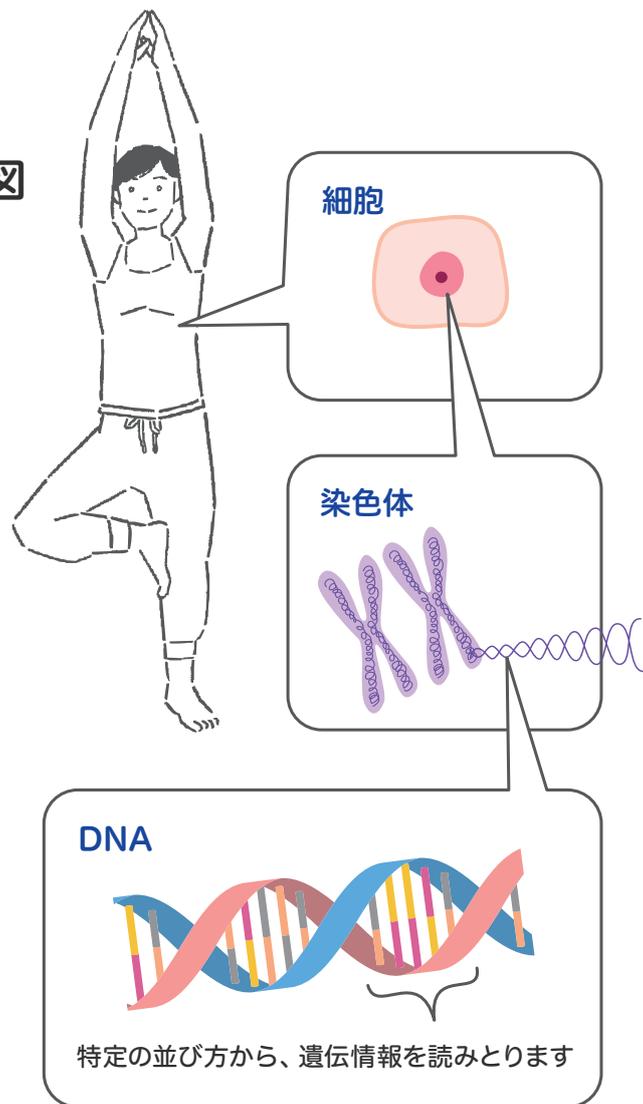
## すべての生命がもつ、からだの設計図

遺伝子とは、親から子へ渡す、からだの形質を決定づける情報で、いわば設計図のようなものです。私たち人間（ヒト）を含むすべての生物が持っている、ヒトには約2万2,000個の遺伝子があると考えられています。

この設計図をもとに、頭には髪の毛が、指には爪が、顔には目や鼻、口が、あるべき場所に作られます。

遺伝子の本体は、DNA（デオキシリボ核酸）という物質です。らせん階段のような構造をしているため、「二重らせん構造」と呼ばれています。この階段部分の特定の並び方から、遺伝情報を読みとることができます。

このDNAは、折りたたまれて23対46本の染色体に収納されています。染色体は、人体を形成している約37兆個の細胞の一つひとつに存在しているのです。



# 遺伝子検査でわかること

## 自分の体質や、将来かかりやすい病気がわかる

人間の体質を左右する個人差は、全DNAのうち、たったの0.1%にすぎません。ですが、このわずか0.1%の違いで、「自分はどんな体質なのか、将来どんな病気にかかりやすいのか」といった差がわかるようになってきました。遺伝子は一生変わることがないため、検査はたった1度でOK。遺伝的リスクを知り、生活習慣を見直すことで、早期からの的確な予防を行なっていくことができるのです。

